



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES



写真選定 流田藤扶会員



第 2880 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.2880/2022. 1. 21

Guest なし Visitor なし

出席 会員数 59 名（うち出席規定免除者 16 名㉓ 3 名㉔ 13 名）

1/21 の出席率 61.22%（出席者 30 名、内㉔ 6 名）

欠席 安藤、藤井、浜崎、波多、石本、井谷、神野、森山、中川、南原、沼本、奥山、齋藤、
嵩田(晴)、白神、田原、和田(一)、渡辺(英)、渡辺(清)、各会員（19 名）

●小田会長

- ・本日の卓話は井原会員のイニシエーションスピーチです。コロナの関係で卓話日が例会取りやめになり延期になっていました。お忙しいところ有難うございます。
- ・先週の理事役員会報告：①会員増強情報について②例会のオンライン対応について（ローテーションを検討してほしい）③12/10 卓話湯浅様の映画協賛について（行いたい）④その他に例会取りやめ 2/25(金)・3/25(金)、例会の食事について

●幹事報告（井上幹事）

- ・倉敷東 RC より、倉敷児島地区会長幹事会のオンライン会議について。他報告 5 件

●次年度について(石田次期幹事)

- ・【クラブ協議会】2022～2023 年度の理事役員、各委員長の発表

●スマイル報告（永井 S.A.A）

- ・三宅(繁)会員：妻の誕生日にきれいなお花をいただき有難うございました。
- ・プログラム委員会 横田、石田、青井、山本各会員：井原秀幸会員のイニシエーションスピーチを歓迎いたします。

●プログラム卓話 インニシエーションスピーチ

水島鋼板工業株式会社 代表取締役社長 井原秀幸様

■水島鋼板工業株式会社、水島メタルプロダクツ株式会社のご紹介

・JFE スチール倉敷地区構内の薄板系各工場の近接地に立地しております。事業内容は鋼板の薄板加工事業です。精製加工、スリット加工などを行っており、鉄鋼コイル、シートなどを製作しています。最終用途としては、自動車の内外板部品、高強度部品、電装部品などです。

■当地とのご縁による事業展開、RC 活動について

- ・1950 年代に三木岡山県知事が草原であった水島に目を付け工場用地を造成した。「農業県から工業県」へ。2018 年の統計では 216 の事業所があり、約 24 千人が雇用されている。昨年 60 周年を迎えた。
- ・1961 年 7 月には、川崎製鉄 (JFE スチール) 水島製鉄所を開設し千葉製鉄所に次ぐ第 2 の一貫製鉄所となっています。
- ・1966 年に川鉄商事(JFE 商事)が、三菱自動車様向け薄板加工販売を目的として川鉄構内に「水島鋼板工業」を設立した (創立 55 年経過)。
- ・2004 年には、川鉄商事が(株)メタルワン様と合併で、三菱自動車様向けブランク加工を行う「水島メタルプロダクツ」を設立した。
- ・2019 年 7 月に荒木前社長が歴史と伝統のある倉敷南 RC に入会した。
- ・2020 年 7 月より入会させていただいております。お取引先の会員様が多くおられ改めて「地域に生きている」こと「地域に生かされている」ことを実感しています。

■自己紹介

・兵庫県宝塚市生まれ。高校の時には山岳部に所属していた。平日はひたすら走り、山行は週末に六甲へ、日本アルプスで夏山合宿などを行った。ここで 3 人の一生の友を得た。大学時代には、マクロ経済学、会計学を勉強した。アルバイトの経験もした。その後、川鉄商事(JFE 商事)に入社。2020 年 4 月に水島鋼板工業、水島メタルプロダクツへ。会社生活で学んできたことを今に生かすことが責務かと思っています。①人は壊れもの ②事件は現場で起きている ③安全最優先

■社会貢献活動について

・2018 年に J F E 商事・川商フーズによるナイジェリアでの机、椅子、ノートなどを贈る寄贈式に出席した。現在も西アフリカの社会貢献活動に取り組んでおります。

例会プログラム予定：

2022 年 3 月 11 日 (金)卓話 「BCP について」 清水 男 様 (総社商工会議所会頭・(株)三松 代表取締役社長)

2022 年 3 月 18 日 (金)卓話 ロータリー情報について 高田ロータリー情報委員